

III 広報 かわじま

'72 町制施行記念号

編集発行 川島町役場 電話 川島 0492(97)1811(代)

人口と世帯

(10月1日現在)

総人口	15,240人
前月との差	9人増
男	7,518人
女	7,722人
世帯数	3,056世帯



(宮前の小高文八氏提供)

町制 祝 施行



「白露」「朝寒」

選者 大塚 釣 川

天位 白露は真珠の如し漁舟行く 大内佐平
 白露と真珠は何か似通ったものを思わせて無駄を感じさせるが、漁場へ急ぐ舟に旭光に輝く露玉を配した大景は抜群。

地位 とりあえず去年の軍手朝寒し 遠山仔晴
 表に飛びだして気づく今朝の冷え、とりあえず出してきた使いたした軍手。あわたたしい出勤の一コマ。

人位 白露や行く程狭き袖の径 福島水鳥子
 人里離れた袖道にも人知れぬ露玉は光る。都会では、すでにこんな白露は失せてしまったろう。遠くの方山々も美しい。

佳作 白露に四方の風音起つ気配 小林啄水
 白露の育つ夜道に葉匂う 小峰良助
 幾千の白露一度に消えてゆく 飯野淑子
 白露やくちなしの花気まぐれに 小高みつ
 朝寒や日に日に太る肥育牛 安田耕作
 朝寒や足もて木戸を開くる癖 高野寿々六
 朝寒やバスを待ち合う人多き 石川俊司
 朝寒の顔歩ませて破損橋 小高祥子
 朝寒に一鳥黙す梢かな 田島牙城子
 朝寒や束ねて吊るす唐がらし 利根川北望

今回の投句は、句数こそ少なかったが総じてまとまっていたように思います。白露の季節も朝寒の感じも正確

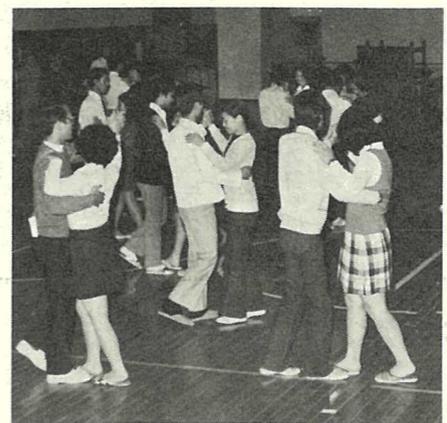
だったようですが、袖や新聞を濡らしたものは白露であつたかもしれないが、句意においては白露とは別のものと解したいものです。句数においては朝寒の方が多く、したがって佳句も多かったのですが、白露の句の方が私の感情を大きくゆるがしました。

なお、入選句以外に入選句以上と感じられる句がありますが、多勢の選のためまえから失礼ながら省かせていただきました。非礼をお詫び申し上げます。

〔文芸募集要項〕

十一月号季題：秋の暮・椋鳥 十二月号季題：虎落笛
 ・蕎麦掻 ※十一月十二日までに企画室広報係まで。

ダンス教室開催中!!



教育委員会では、中央公民館との共催で、社交ダンス教室を中学校体育館で開催しており、現在約七十名の参加があります。

今回は、昨年に引き続き第二回目なので、ステップの上達が早い

期日 十二月三日(日)
 会場 川島中学校校庭
 試合方法 トーナメント方式。ソフトは一試合五回まで四十五分間、試合中は「四十歳以上の男子」または「女子」が常時四名以上出場していること。バレーボールは一試合三セット、参加資格は原則として三十歳以上の婦人を対象とする。

申し込み 十一月十四日(火)までに教育委員会へ。
 主催 体育協会
 中央公民館

ソフト・バレーボール 大会出場チーム募集

ようです。ただ残念なことは、毎回女性の参加者が少なく男性の相手が不足してしまうことです。女性のあなたの積極的な参加をお願いします。

参加したいかたの問い合わせは教育委員会まで。



水道使用量 (9月分)

81,460立方メートル

1立方メートルは、石油のドラムかん5本ぶん

クイズ

問題 第三回定例村議会 前の昭和四十七年度一般会計予算額はいくらかでしょう。

回答は 十一月十二日までにハガキで役場広報係まで

賞品 正解者多数の場合は、抽せんの結果、十名の方に粗品を進呈します。

前回の答 十一月三日でした。

正解者

上伊草	伊藤 守
角 泉	根生 芳雄
上 猪	谷島 義明
上 猪	猪鼻 義治
白井沼	高橋 実
出丸中郷	鈴木 久人
虫 塚	小池 孝
上小見野	町田 安章
下小見野	深谷 房子
鳥羽井	比留間高雄

川島町の誕生

11月3日

明るく豊かな田園都市の建設へ



町制施行に際して

川島町長 石田 正平

菊花香る文化の日、晴れて
待望の町制が施行されました。
みなさまとともに喜びを申し
上げます。



町制施行を祝して

川島町議会議長 新井重七郎

昭和二十九年十一月三日、
社会経済生活等あらゆる面に
おいて密接不可分な関係にあ
りました川島領六カ村が合併
し、川島村が発足して早くも
十八年を迎えました。その間
村議会を始め住民各位並びに
関係各位の深いご理解とご協
力によりお陰様で町としての
要件も確立し、いよいよ念願
であった町制が本日十一月三

日文化の日の佳き日を期して
施行することになりました。
さいわい町民並びに関係各位
のご協力により建設事業も着
々と進められ、今や躍進途上
にあるおかげで誠に慶賀にあ
えません。たまたま先の議会
で、川島町総合振興計画基本
構想が可決され、これにより
主要道路、都市的利用地域、
農業振興地域、緑地保全地
域、工業用地域等総合的長期

的開発のビジョンが策定され
いよいよその前途が期待され
る状況です。本町はご承知の
とおりほとんどが田園で、面
積が四二・一平方キロ、戸数
三、〇五六戸、人口一五、二
四〇人で第一次産業が主とし
たが、最近の社会経済情勢の
急速な進展に伴い工場会社等
の進出がめざましく、第二次
産業も増加の一途をたどって
います。

以上、町の概況と町制施行
のお礼を申し上げますが、こ
の輝かしい町制施行に当り更に
使命の重大さに思いをいたし
決意を新たに地方自治の
発展と飛躍のために挺身し、
もっとも合理的な町の開発に
取り組んで調和のある理想郷
川島町の建設にあたりたい所
存であります。住民各位のさ
らに一層のご理解、ご協力を心
からお願い申し上げます。

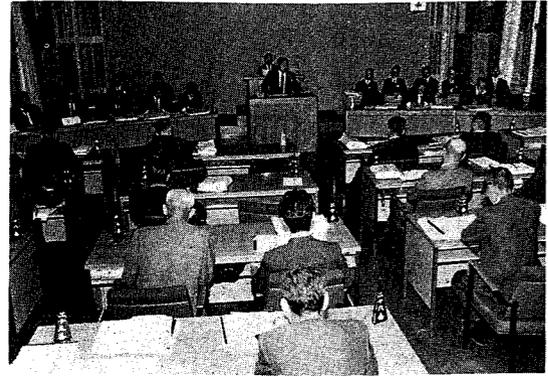
第3回定例村議会

一般会計予算 六億七千万円に

第三回定例村議会は、九月三十日から十
月九日までの会期十日間をもって開かれ、
昭和四十七年度一般会計補正予算をはじめ
監査委員、教育委員などの人事案件など、
議案十五件、請願四件が上程され、それぞ
れ可決、認定されました。

■監査委員の再選について
委員の竹谷淑氏の任期が
委員の齊藤丈七氏が任期
満了となりましたが、再び
満了となりましたが、再び
選任されました。

■教育委員会委員の任命に
ついて
また委員、鈴木三郎氏も
任期満了となりましたが、
再び任命されました。



■昭和四十七年度
一般会計予算の
補正について
今度の補正は、
歳入歳出にそれぞ
れ一億三千五百一
万九千円を追加し
て、歳入歳出予算
の総額をそれぞれ
六億七千二百一十
九千円とするもの

です。歳入歳出のおもな
のは次のとおりです。

- 〔歳入〕
村税 村民税現年課税分追
加一千四百万円、固定資
産税現年課税分追加一千
百五十六万円
地方交付税 普通交付税追
加一千七百三十三万円
分担金及び負担金 日本学
校安全会負担金追加七万
円
国庫支出金 浅間排水路護
岸災害復旧費国庫負担金
二百六十六万円
補助金三十万円、園芸主
産地育成事業補助金八十
五万円
財産収入 土地・家屋売却
収入四百七十四万円
寄付金 児童生徒図書整備
基金寄付金五百万円
諸収入 水害予防組合解散
引継金五十六万円
村債 道路改良舗装事業債
追加一千五百万円、総合運
動場整備事業債五千万円
〔歳出〕
総務費 旧食糧事務所土地
建物購入費追加四百四十
万、広域消防(出張所)用
地購入費四百五十万円、町制
施行費四百五十万円
民生費 敬老年金追加八十
三万円、老人クラブ活動
費補助金追加十三万円

衛生費 三兼消毒機購入費
六万円
農林水産業費 園芸主産地
育成事業補助金九十五万
円、村道舗装工事請負費
追加一千二十八万円
消防費 消防指令車購入費
六十六万円、堤防草刈り
請負費百二十万円
教育費 児童生徒図書整備
基金繰出金五百万円、伊
草小の騒音防止工事百五
十万円、総合運動場造成
工事請負費及び用地購入
費五千万円
災害復旧費 浅間排水路護
岸復旧工事請負費三百十
万円
公債費 一時借入金利子五
十万円
昭和四十七年度学校給食
費特別会計予算の補正に
ついて
歳入歳出にそれぞれ四百
八万一千円を追加し、歳入
歳出予算の総額をそれぞれ
二千九百二十八万円とする
ものです。

- 昭和四十六年度一般会計
歳入歳出決算を認定した
こと
■昭和四十六年度国民健康
保険特別会計歳入歳出決
算を認定したこと
■昭和四十六年度学校給食
費特別会計歳入歳出決算
を認定したこと

昭和46年度一般会計決算の状況 (単位:千円)

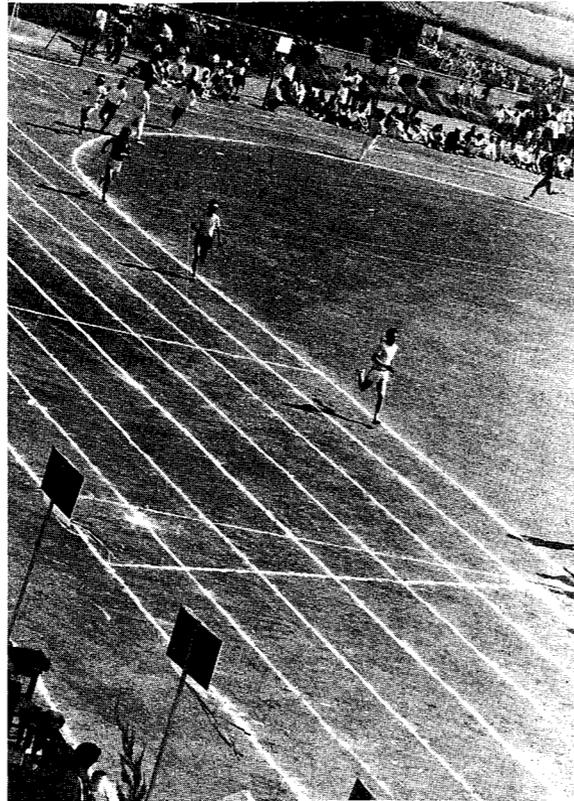
歳 入		歳 出	
村 税	134,322	議 会 費	14,452
自動車取得税交付金	15,618	総 務 費	108,799
地方交付金	277,290	民 生 費	33,802
交通安全対策特別交付金	345	衛 生 費	11,697
分担金及び負担金	18,915	農 林 水 産 業 費	66,031
使用料及び手数料	4,621	商 工 費	1,922
国 庫 支 出 金	23,247	土 木 費	119,269
庫 支 出 金	39,569	消 防 費	10,698
財 産 収 入 金	1,469	教 育 費	162,809
財 寄 入 金	1,178	災 害 復 旧 費	5,593
繰 上 金	68	公 債 費	12,058
繰 越 金	32,018	諸 支 出 費	20,000
繰 入 金	9,807		
繰 上 金	23,100		
合 計	581,567	合 計	567,130

- 昭和四十六年度水道事業
決算を認定したこと
■専決処分承認について
川島村国民健康保険税
例の一部を改正したこと
■川島村敬老年金支給条例
の一部を改正したこと
■埼玉県市町村職員退職手
当組合規約の一部を変更
したこと
■村道路線の廃止について
農免道路の舗装、近代農
道・団体管農道の整備をす
る関係上、村道路線を九本
廃止したことです。
- 請願
(1) 八ッ保小学校東側の村
道を、舗装化へ要望する件
(2) 小見野地区の農民セン
ター及び十三集会所に有線
放送施設設置の件
(3) 伊草小学校の防音に
具体的施策を要望する件
(4) 畜産公害防止施設の設
置費に対する助成の件
以上四件については、今
後よく研究し善処すること
で採択されました。
- 第五回臨時村議会
昭和四十七年の第五回臨
時村議会が十月三十一日に
開かれ、次の議案が上程審
議された結果、可決されま
した。
▽町制施行に伴う関係条例
の整理に関する条例制定
について
村を町とし、その名称を
変更することに伴い現に施
行されている条例の題名お
よび本文中にある「村」を
〔町〕に改めたものです。

体育祭シーズン 楽しい秋の一日



元気いっぱいの走り (中学校体育大会)



一五〇メートル走 (村民体育祭)



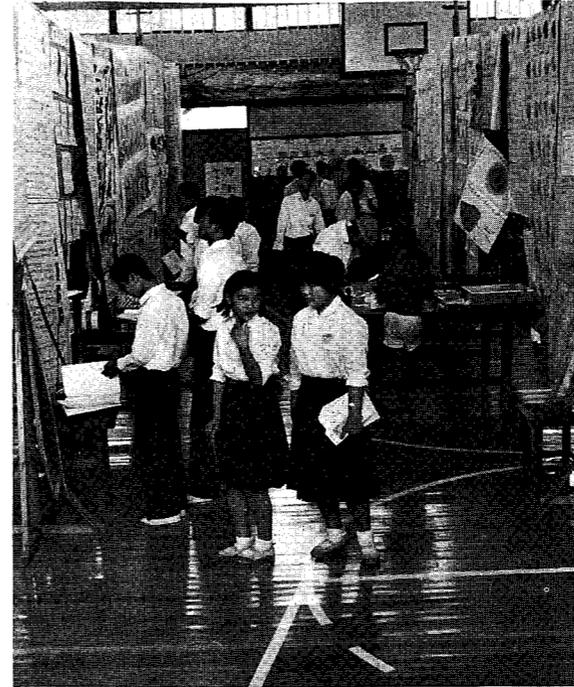
どれが多くはいるかな…… (村民体育祭)



応援も負けないぞ! (小学校対抗の体育大会)



おかあさんと一緒にゴールイン (幼稚園の運動会)



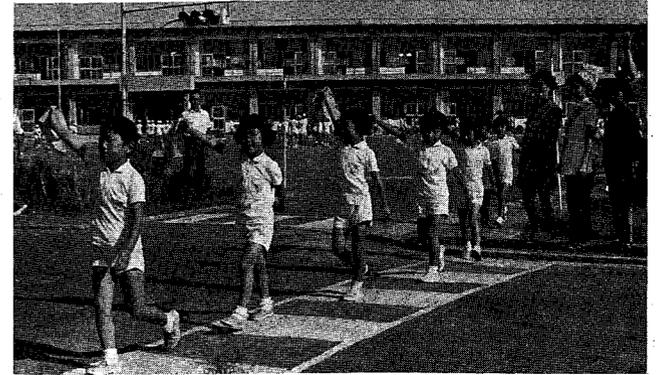
理科展覧会

8月18日、川島中学校体育館で比企地区理科展覧会が開かれ、小・中学生の日頃熱心に研究した結果を発表しました。



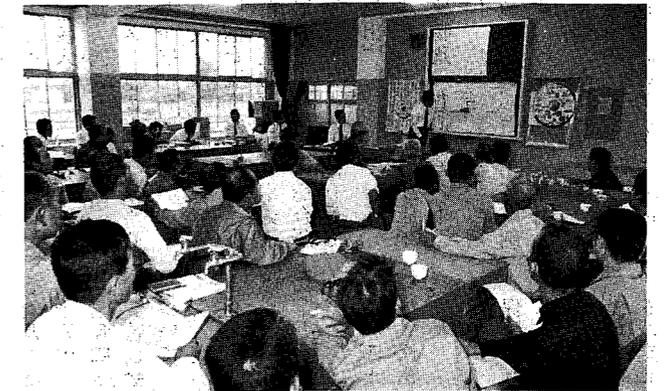
老人健康診査

八ッ保地区(10月14日)と小見野地区(10月17日)の65歳以上の人を対象に老人健康診査が実施され、尿検査、血圧測定、医師による一般検診が行なわれました。



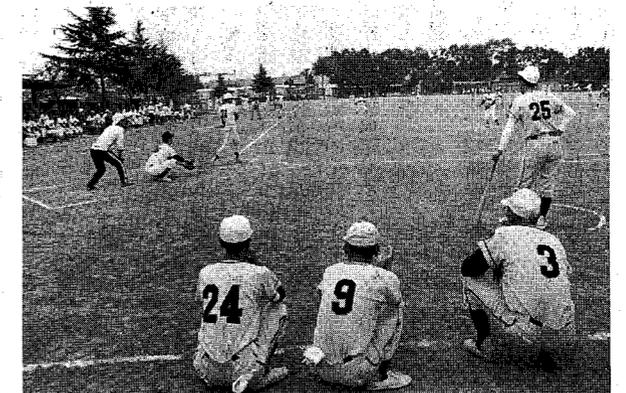
元気に登下校

八ッ保地区交通安全母の会と小学校PTAの人たちの手で、児童たちに黄色いハンケチが配られました。これは、交通事故防止から守るため、ポケットなどに携帯し必要に応じて使うものです。(交通公園で実習)



かんがい排水整備の地域説明会

土地改良事業におけるところのかんがい排水整備地域説明会が、9月16日、中山を皮切りに全地区で開かれました。(八ッ保地区の説明会)



議員ソフトボール大会

吉見中学校で9月24日、第5回比企郡町村議員親善ソフトボール大会が行なわれ、その結果、川島チームは準優勝といううりっぱな成績を獲得しました。

定期検診のおすすめ

人はみな誰もが、健康で長生きをしたいと思わないものはないが、健康で長生きをしようと思わないものはない。多岐にわたる原因がはつきりせず、予防も、薬による治療も不可能に近いわけです。

働き盛りに多いガン

この成人病の死亡率の順位を年代別に分けてみるとガンは三十五歳から六十歳までの働き盛りの男女とも第一位であり、死亡した人のうち四人に一人が、ガンで亡くなっています。日本人のガンの特色は、

原因不明の病氣

私たち川島町での死亡率順位をみますと、第一位が脳卒中で、次に心臓疾患、ガンの順であり、この三つを成人病といいますが、この

教育長に小高登氏



九月定例村議会での同意を得、教育委員会委員に任命された鈴木三郎、鹿山鉄郎氏を交えて開かれた教育委員会は去る十月十一日に行

なわれ、空席となった教育長に小高登氏が任命されました。同氏は、旧制川越中を卒業後家事に従事、農業委員会委員、教育委員会委員を経験し、昭和四十五年に再び委員に任命され今日にいたりました。

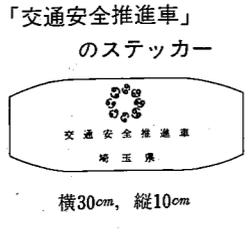
小高 登(四十四歳)
川島町大字紫竹三

交通安全意識の高揚を

“県交通安全推進員”20名委嘱

本県の交通安全の推進に積極的に協力しているものの中から二十名が選定され、推進員に委嘱されました。こうして推進員に選ばれた人は、県が交付した「交通安全推進員」の門標を掲げ、地域の住民や家庭に呼びかけを行なうほか、運転する自動車には、「交通安全推進車」のステッカーをはりつけて、自ら安全運転を行ない、他の模範となるように努め、交通事故の防止にあたります。

この交通安全推進員は、交通安全の模範となり、運転者、歩行者等の交通安全意識を高めることにより、交通事故の防止を図ることを目的としています。そして、このほど町内から、運転免許を有する者で



水道管敷設による交通止のお知らせ

昨年からの施行しております吹塚地区の浄水場建設工事、皆様方の協力により予定より早いテンポで進行しております。

ついでには、浄水場から皆様のお勝手につながる管の敷設工事が、十一月早々始まり

ますので、関係道路の交通ができません。農作業その他通行に支障をきたしますが、関係者皆様方のご協力をお願い申し上げます。

区域 大字吹塚地区
期間 十一月一日〜十二月末日まで

胃ガンの比率が世界一多いことであり、男では半数、女では四割近くがこの胃ガンですが、女性では、このほか子宮ガンと乳ガンが多いです。

発見しやすい胃

・子宮・乳ガン

ですから、この三つのガンさえ克服できれば、日本人のガンによる死亡は、今の半数ぐらゐになるのです。

そして、現在のすすんだ医学で最も発見しやすいのが胃ガン、子宮ガン、乳ガンであり、また早期発見で治りやすいガンもこの三つです。

年間十二万人が死亡

それなのに、このガンのために不幸にも生命を失うものは年々増加し、全国で実に十二万人を越え、川島町でも昨年度三十名の人が、尊い生命を亡くしています。

自覚症状がない

では、どこに問題があるのでしょうか。これは、ガンの初期に自覚症状、つまり痛みとか、食欲がないとか、やせた等が分からず、医師の診察を

定期検診で確認を

したがって、健康で長生きをするためには、自分からすすんで、一年に一回ぐらゐは検診を受けて確かめるのが、最良の方法であります。町では、県対ガン協会の協力を得て、市民の健康を守るため本年度も、次のとおり集団検診を実施いたします。

内容	期日	場所
子宮ガン	11月20日(月)	伊草小学校
	11月24日(金)	中央健康相談室
	12月8日(金)	中山公民館
乳ガン	11月21日(火)	中山公民館
	11月22日(水)	伊草小学校
胃ガン	12月11日(月)	中央健康相談室
	12月12日(火)	出丸農協支所

金額支給対象を大幅に拡大

第二次世界大戦時に、公務によって病氣やけがをし、死亡した人に対し、国家が補償するという遺族等援護法が、十月一日から大幅に改正されました。おもな改正点は、つぎのとおりですが、新たに該当者となったと思われる方は住民課福祉係にお問い合わせください。

年金額の引上げ

年金額が改正され、障害年金、遺族年金、遺族給与金などの額が大幅に引き上げられました。

支給対象の拡大

準軍属の範囲が拡大され従来は対象とされなかった昭和十二年七月七日から昭和十六年十二月七日までの間、内地、樺太、千島列島、朝鮮、台湾に勤務していた陸海軍部内の有給軍属を、遺族

衛生委員さんを通じ、検診の希望をとりますので、そのときに申し込めば、検診を受けることができます。

等援護法上の準軍属として救済することになりました。これにより、勤務中に病氣やけがをした人には障害年金がまた、それが原因で死亡した人には、遺族に対して遺族給与金などが支給されます。

満州に勤務していた有給軍属と満鉄職員などについて在職期間が、延長して認められるようになりました。この結果、満州で昭和十二年七月七日から昭和十六年十二月七日までの期間に、公務で障害を受けた人への障害年金が、また、死亡者の遺族には遺族年金などが支給されます。

満州開拓青年義勇隊についてもその範囲が拡大されました。このため、昭和十四年十二月二十二日から昭和十六年十二月七日までの期間、満州で軍事にたずさわって、障害を受けた人に対しては障害年金が、また、死亡者の遺族には遺族年金などが支給されます。

一部負担金の減免について

国民健康保険低所得者

国民健康保険の加入者で災害その他特別の事情により一部負担金の支払いが困難な者に対し、国民健康保険では償還方式により、一部負担金の減免を行なってきました。が今後立替え払いの負担の軽減を図るため、減免された一部負担金は窓口で支払わなくてすむいわゆる「現物給付」を行なうことに改めました。減免を受けるためには、受診の前に申請書を提出して「減免証明書」の交付を受けることが必要となります。すから、次の事項に該当すると思われる方は、住民課国民健康保険係へ相談してください。

▼生活保護法による保護が停止されている世帯に属する者(免除)

▼当該年度および前年度において、生活保護法による保護が廃止された世帯に属する者(免除)

▼生活保護法による保護を受ける世帯に属すると認められる世帯に属する者(五〇%)

▼災害により、一部負担金を支払うことが困難であると認められる世帯に属する者(五〇%)

乱用者

青少年の健康を著しく害するポンドやシンナー遊びを防止するため、町では青少年相談員、環境浄化委員の協力をいた

意外に多い

接しなかったが、使用した形跡は各所に見られ、特に管理の悪い集会所が多く使用されていました。

乱用者の生活環境は何れも家庭における放任が主な理由であることを考え、融和ある家庭環境を築き、青少年の健全な育成を図っていきましよう。

戸籍たより

(九月分)

- (カッコ内は親)
- 長谷部宏行(守男)上小見野
 - 小久保和広(正一)平沼
 - 小高 尚子(勝)畑 中
 - 浅見 孝久(吉孝)中山
 - 岡安 明美(福司)下小見野
 - 黒田 弥美(文男)下大屋敷
 - 大澤 晃(光生)畑 中
 - 白石 恵美(督)曲 師
 - 牛村百合子(吾作)伊草
 - 谷澤 崇(正)下伊草
 - 石黒 貴宏(武)新堀
 - 椎橋直央樹(茂)平沼
 - 利根川真由美(稔)南園部
 - 山口 保治(宏)正直
 - 白石 純子(正行)曲 直
 - 高橋 正臣(良夫)中山
 - 飯島 弘子(晋一)中山
 - 竹谷美和子(芳彦)下小見野
 - 鈴木 明香(正)畑 中
 - 岡部 富夫(登一)北園部
 - 遠藤おかり(正男)下大屋敷
 - 田中 裕美(保)下八ツ林
 - 新井 直隆(隆)中山
 - 圓城寺和美(邦雄)下小見野
 - 小峯 裕功(三吉)牛ヶ谷戸
 - 新井由美子(誠一)牛ヶ谷戸
 - 上原美知子(政治上)上八ツ林
 - 宮下 直樹(一夫)正 直
 - 新井 透浩(英夫)下小見野
- おめでとう
- 清野 和男 長野県
 - 大島 聖子 下小見野
 - 脇黒 啓一 鹿兒島県
 - 新井 敏枝 中山
 - 急式三三男 下伊草
 - 齊藤 幸子 川越市
 - 小久保富雄 平沼
 - 岡野亀久恵 釘 無
 - 関根 正利 上福岡市
 - 友光 悦子 上八ツ林
 - 水川 泰憲 三重県
 - 小島 幸恵 平沼
 - 菅間 勝美 下伊草
 - 西島 豊子 川越市
 - 鈴木 博志 大阪府
 - 梶野けい子 白井沼
 - 遠山喜代次 安塚
 - 森田喜美子 東京都
- おめでとう
- 鹿山 徳治 55 上伊草
 - 井上 光一 43 新堀
 - 大澤 正人 9 畑 中
 - 小岩 てつ 69 東大塚
 - 伊藤善一郎 58 上伊草
 - 谷島 喜久 89 山ヶ谷戸
 - 小鮎 忠助 62 出丸下郷
 - 矢部友一郎 48 山ヶ谷戸
 - 谷島 志も 69 出丸中郷